

南信州広域連合第1回広域連合会議 結果報告

日時：令和7年4月16日(水) 15:45～16:15

場所：県飯田合同庁舎301号会議室(講堂)

【出席者】14市町村長、副管理者

〔長野県建設部リニア整備推進局〕小池所長

〔南信州地域振興局〕岩下局長

〔飯田建設事務所〕松本次長

〔下伊那郡町村会事務局〕岡庭局長

〔飯田広域消防〕下平消防長、新井消防次長兼総務課専門幹、熊谷消防次長兼総務課長

〔環境センター〕松下事務長

〔事務局〕吉川事務局長・滝沢事務局次長兼総務課長

乾地域医療福祉連携課長兼医療福祉連携係長・壬生広域振興係長

渡邊広域振興係企画調整担当専門主査・熊谷庶務係長・幾島庶務係主事

1 開会…15時45分

2 広域連合長あいさつ

広域連合の職員体制も変わっているため、新しい体制で宜しくお願いする。

広域連合の事務所についても本格的に移動し、はにかむべしとして動き出している。

5月から文化芸術活動支援センターのオープンも控えている。更には、5月7日から南信州ナンバーの交付が開始するというので、新年度早々、様々な動きがある。

また、広域連合としての、「第5次広域計画」、消防では、共同指令センターの整備、高森消防署の整備と言った大きな事業が目白押しとなっている。

非常に動きの大きい年度となるが、引き続き広域連合のメンバーには宜しくお願いしたい。

3 協議・報告事項

(1) リニア中央新幹線について

長野県建設部リニア整備推進局から【小池所長】～資料No. 1～

各市町村の進捗状況の説明を行う。

大鹿村で3月19日にリニア連絡協議会を行った。工事の進捗状況、工事車両の台数、環境測定の結果、工事に関する県境保全計画書の更新内容を説明した。

3月31日から4月6日までの間、飯田ケーブルテレビにて制作した「教えて！リニアのリアル」第14弾を

放送した。今回は、長野県駅周辺の工事や埋蔵文化財調査の様子を取り上げた。また、大鹿村の間伐材を活用したオリジナルアロマを東海道新幹線品川駅の待合室にて、お客様のおもてなしとして行ったことも取り上げた。事務所公式YouTubeチャンネルにも投稿しているので、ぜひ見て欲しい。

4月13日飯田市「野底山森林公園さくら祭り」でリニアブースを出展した。

(主な意見等)

阿智村：森林資源を活用したアロマオイルという話があったが、こう言った取り組みは大変ありがたいと思っているし、強い関心があるため、ぜひこの地域ぐるみで協力体制をお願いしたいと思う。

連合長：アロマオイルは売れる物があるのか。

小池所長： まだ売れるという段階には至っていない。

連合長： 野底山森林公園さくら祭りは雨の中であつたが、出展に感謝する。引き続き地域への情報発信をお願いしたい。

(2) 令和7年度の職員体制、新任職員の紹介【吉川局長、下平消防長】～資料No. 2～

南信州広域連合事務局、飯田環境センター及び飯田広域消防の令和7年度の新たな職員体制について紹介がなされた。

(3) 文化芸術活動支援センターのオープンについて【滝沢次長】～資料No. 3～

5月1日から利用開始することに伴い、4月28日に開所式を予定しており、テープカットを来賓の方をお願いしたいと考えている。開所式の後に施設見学会を予定している。来賓に加え、利用登録団体、広域連合協議会議員及び長野県文化振興事業団へ出席案内を行う。

運営状況としては、3月11日から利用団体等の登録を行っており、現在56の団体等の登録がされている。4月14日から施設利用の受付を開始し、4月15日から飯田創造館からの物品の移設が行われている。

→質疑等なし

(4) 第二飯田荘の指定管理者変更について【乾課長】～資料No. 4～

施設の概要だが、鉄筋コンクリート2階建てであり、1階に飯田デイサービスセンターを併設している。

社会福祉法人飯田市社会福祉協議会から令和5年度中に人材不足を理由に令和6年度末をもって協定解除したい旨の申し出があり、公募によって新たに、社会福祉法人アムノスの会を選定した。新規指定管理者として3年間の指定管理期間となっている。アムノスの会の設立経過は、平成28年に株式会社たまゆらが直営の特別養護老人ホームを運営するために、系列法人として設立された。法人の直営施設は、特別養護老人ホームたまゆら及びショートステイ特養たまゆらがある。

その他、高森町のあさぎりの郷では、入所を制限して運営していたところであつたが、職員が確保されたことにより、制限の緩和ができた。また、阿南町の赤石寮から、新規の受入れを停止している旨の報告がされている。

→質疑等なし

(5) 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画及び災害廃棄物処理計画の策定について【松下事務長】口頭説明

前広域連合会議で承認された両計画案について、3月21日から4月14日までの間、パブリックコメントを実施した。結果、意見は寄せられなかったため、成案としたい。5月13日に開催される広域連合協議会第1回臨時会閉会後の全員協議会で報告し、6月1日から施行する予定。4月15日に開催した構成市町村のごみ処理事務担当者会において、パブリックコメントの結果及び成案とする旨を報告している。

→質疑等なし

(6) 飯田広域消防から【熊谷次長】～資料No. 5、5-2、5-3～

3月1日から3月31日までの間、「たき火火災ゼロ運動」を行っている。期間中、14件の火災が発生し、内9件屋外の火の取扱いが起因する火災となっている。屋外の火の取扱いに起因する火災9件の内8件がたき火の届け出をされていない状況であり、併せて消火の準備がされていない状況であった。この状況から市町村の同報やケーブルテレビでの啓発動画の放送を行い、注意喚起を行って行く。また、

出火行為者の年齢が 60 歳以上の高齢者が非常に高いため、高齢者の集いなどで実施する防火講話で注意喚起を行って行く。

災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車については、現在のはしご車が 25 年使用しており、更新となる。あらゆる地形を考え、高所から低所まで活動できる高いスペックの車両となり、より広い範囲での活動ができるものとする。配備先は飯田消防署を予定。

マイナ保険証を活用した救急業務の円滑化に係る令和 7 年度実証事業について、令和 6 年度は病院の協力を得てオンライン資格を取得し、マイナ保険証を閲覧していたが、令和 7 年度は総務省が消防独自のシステムを構築し、オンライン資格を取得することでできるようになった。今年度の実施消防本部は、飯田広域消防の救急隊 10 隊を含む全国すべての消防本部となる。実施期間が令和 7 年 5 月 12 日から令和 8 年 3 月 31 日までの予定。実施事業の内容は、救急隊員が傷病者の同意を得た後、カードリーダーを使用し、受診歴や服用薬の情報を得て病院選定に繋げるもの。

(主な意見等)

阿南町：屋外の火の取扱いが起因する火災は、法的な罰則などはないのか。

下平消防長：火災予防条例では、「火災と紛らわしい行為がある場合は届け出ること。」と記載はされているが、罰則規定はない。

連合長：全国的に山林火災が大規模なことになっている。他人事ではないと考え、火災予防を強める必要がある。

(7) その他

ア 南信州いいむす 21 登録判定【壬生広域振興係長】～資料 No. 6～
2 件の登録判定をお願いしたい。

- ・株式会社コムズ
南信州宣言の登録
- ・株式会社東設
87Pt ★×9 の登録

→ 異議なし。登録となる。

イ 後援依頼【熊谷庶務係長】～資料 No. 7、7-2、7-3～
事業名：2026 中部の私立大学・短期大学 大学展 飯田会場
期 日：令和 7 年 6 月 15 日(日) 10 時 00 分から 16 時 00 分まで
場 所：丘の上 結いスクエア (ムトスぷらざ)
主催者：中日新聞

事業名：いいだ人形劇フェスタ 2025
期 日：令和 7 年 8 月 7 日(木)から令和 7 年 8 月 10 日(日)まで
場 所：飯田文化会館、飯田人形劇場ほか飯田市内外の約 120 会場
主催者：いいだ人形劇フェスタ実行委員会

→ 異議なし。承認となる。

ウ 2025 年ツアー・オブ・ジャパン綿半信州飯田ステージについて【吉川局長】～資料 No. 8～
チラシ配布のみ

4 長野県から

(1) 南信州広域振興局【岩下局長】

前回の連合会議で説明した元気づくり支援金の見直しの件で、今年度は募集期間半月以上延長されているため、現在選定作業を行っている。5月に選定会議を開催し決定となる予定。

(2) 飯田建設事務所【松本次長】

今年度も様々な意見を聞き反映して行きたいと思う。

5 当面の日程について

4月28日（月）9時00分 文化芸術活動支援センター オープンセレモニー

5月19日（月） 広域連合会議（はにかむべーすA棟 201/202号室）

6 閉会…17時10分